公益社団法人　隊友会　https://www.taiyukai.or.jp/

1月2日から継続中の能登半島地震に係る災害派遣で活動中の隊員の皆様に敬意を表します。

隊友

令和6年3月15日
第839号　毎月1回・15日発行
発行所　公益社団法人 隊友会本部
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5番1号
電　話　03(5362)4871・FAX4876
購読料　1カ月120円（税込み送料別）、1カ年1,400円（税込み送料共）
※　令和6年4月号より1カ年の購読料を1,700円に値上げさせていただきます。（1カ月購読料は据え置き）
kouhou@taiyukai.or.jp

元気のある支部投稿募集

8面に詳細

出港見送り

「さざなみ」が呉から出港

広島県隊友会が激励

2月1日、第47次派遣海賊対処水上部隊（情報収集活動を兼務）護衛艦「さざなみ」（指揮官＝艦長・伴昌行2等海佐）が、乗員約200名、海上保安官8名を搭乗させ、海上自衛隊呉基地を出港した。

「さざなみ」は昨年9月に出港した「あけぼの」と交代する。派遣部隊の1月末までの累計護衛隻数は3955隻であり、特異事例として「あけぼの」は、1月15日、マーシャル諸島船籍の船舶が弾道ミサイルによる攻撃を受けたとの情報を受け、搭載ヘリと当該船舶との通信を行いTF151に情報提供を実施している。

この日、隊員及び隊員家族等約500名とともに、広島県隊友会（会長・寺尾憲治）呉支部（支部長・豊澤幸徳）の会員8名が激励・見送りを行った。

また、出港後には同艦が通過する大須瀬戸で会員8名が呉隊友旗を掲げて激励・見送りを実施した。

出国に先立つ1月31日、「さざなみ」を訪問し隊友会を代表して寺尾広島県隊友会長が激励品を贈呈した。

（事務局長・森本茂生）

艦長に激励品を贈呈する寺尾会長

令和6年度防衛予算

防衛力抜本的強化推進本部を設置
ー防衛力強化進捗状況を管理ー

防衛省は昨年12月、令和6年度予算を「防衛力抜本的強化の進捗と予算」と名付け公表した。

令和5年4月に防衛大臣を本部長とした「防衛力抜本的強化推進本部」を設置、装備品の早期運用化のための事業進捗管理等を行い、令和5年度から令和9年度まで5年間の防衛力整備計画事業費43・5兆円（契約ベース（注1）以下同じ）の42%を令和6年度までに措置するとしている。このため、6年度予算（当初）は5年度の当初予算に補正予算を加えた約9兆8百億円を上回る約9兆6千億円を計上した。

更に、防衛力整備計画の特記すべき進捗として、①スタンドオフ防衛能力については、12式地対艦誘導弾能力向上（地発型）の配備とトマホークの取得を1年前倒し（令和8年度⇒7年度）②統合防空ミサイル防衛能力については、HGV（注2）等への対処を目的としたGPI（注3）の日米共同開発開始を決定、イージスシステム搭載艦の設計契約を締結③装備品調達の年度内の早期時期に契約締結④施設の強靭化のためのマスタープラン作成業務契約を締結・作成作業に着手、などの状況を公表した。特筆すべき6年度の新規事業は次のとおり。

◇「統合作戦司令部（仮称）」の創設
○司令部の概要
・統合作戦司令部（仮称）（創設当初は約240人）を令和6年度末に市ヶ谷に設置
・統合作戦司令官（仮称）は陸海空幕僚長と同格の将官を配置
○司令官の役割
・自衛隊の運用等に関し、平素から部隊を一元的に指揮
・陸・海・空・宇宙・サイバー・電磁波などの領域における統合作戦の遂行　など

◇人的基盤の強化
○自衛官の給与・手当に係る処遇の改善
・護衛艦、潜水艦等の乗組員に支給する手当の引上げ（支給割合を約10%引上げ）
・レーダーサイトで勤務する隊員に支給する手当の新設（日額860円を支給）
・防空指令所等で勤務する隊員への手当の支給（日額740円等を支給）
・自衛隊サイバー防衛隊で勤務する隊員に支給する手当の引上げ（支給割合を約16%等引上げ）
・水陸機動団で勤務する隊員に支給する手当の引上げ（支給割合を約13%引上げ）
・レンジャー訓練中の隊員に支給する手当の新設（日額4260円等を支給）
・基地警備等のために深夜勤務する隊員に支給する手当の引上げ（日額730円から1100円に引上げ等）
・普通科連隊等の狙撃手への手当の支給（階級初号俸の16・5%等を支給）
・馬毛島で勤務することとなる隊員への手当（へき地手当等）の支給等（俸給等の15%を支給）
○自衛官の「実員」の廃止
自衛官の定数の範囲内において、自衛官の予算上の人員数の上限として各年度要求していた、自衛官の「実員」を廃止
○海自艦艇の通信環境の改善
・居住区画においても隊員個人の携帯電話からメールの送受信が可能となるようラジオ・テレビ受信装置の無線LAN環境と隊員が家族と連絡を取るための電子家庭通信装置を接続
・水上艦艇に加え、潜水艦においても電子家庭通信装置を整備等女性活躍、取得働き方改革及び生活・勤務環境改善の推進等
○女性自衛官の教育・生活・勤務環境の基盤整備
○予備自衛官等管理システムの整備
○第一線救護能力等の強化
○戦傷者の後送間救護能力の強化
○自衛隊病院の機能強化など

◇機動展開能力・国民保護
○「自衛隊海上輸送群（仮称）」の新編
南西地域への機動展開能力を向上させるため、共同の部隊として「自衛隊海上輸送群（仮称）」を新編
○機動舟艇の取得（3隻）
・南西島嶼部等に部隊や物資を迅速に輸送するために使用する機動舟艇を取得
・「自衛隊海上輸送群（仮称）」に配備予定
○民間輸送力活用事業
令和7年12月に現PFI船舶の契約が満了することから、民間船舶を活用した輸送体制に空白を生じさせないよう、新たに2隻のPFI船舶を確保

◇スタンド・オフ防衛能力・統合防空ミサイル防衛能力
○新地対艦・地対地精密誘導弾の開発
長距離飛翔性能、精密誘導性能など対艦・対地対処能力を向上した新たなスタンド・オフ・ミサイルの開発に着手（12式地対艦誘導弾能力向上型の地上装置を活用可能）
○トマホーク発射機能の艦艇への付加
令和7年度のトマホーク納入に向け艦艇への機能を付加。
○GPIの日米共同開発
HGVの滑空段階において対処するための誘導弾を共同開発

◇無人アセット防衛能力
○USVの試験的運用
USV運用の知見を早期に獲得するとともに国産USVの開発促進を図るため、各国で運用実績のあるUSVを供試器材として取得
○戦闘支援型多目的USVの研究
警戒監視や対艦ミサイル発射等の機能を選択的に搭載し、有人艦艇を支援するステルス性を有したUSVを研究

◇領域横断作戦能力
○静止軌道間光データ中継実証
民間事業者が運用する光データ中継衛星を利活用し、静止軌道間での光通信によるデータ伝送を実証
○機動戦闘車等と連携し、機動的に侵攻部隊対処を行うための共通戦術装輪車（歩兵戦闘車及び機動迫撃砲）を取得
・共通戦術装輪車（歩兵戦闘車）の取得（24両）
・共通戦術装輪車（機動迫撃砲）の取得（8両）
○新型FFMの建造（2隻）
長射程ミサイルの搭載、対潜戦機能の強化等、各種海上作戦能力が向上した新型のFFM（480トン）を建造
○新型補給艦の建造（1隻）
あらゆる事態において護衛艦等の任務継続のため、洋上における後方支援能力を強化した補給艦（14500トン）を建造
○新田原基地に「臨時F-35B飛行隊（仮称）」を新設

◇防衛技術基盤の強化
○防衛イノベーション技術研究所（仮称）の創設
防衛イノベーションや画期的な装備品等を生み出す機能を抜本的に強化するため、米国のDARPA（国防高等研究計画局）やDIU（国防イノベーションユニット）における取組を参考に、これまでとは異なるアプローチ、手法により、変化の早い様々な技術を、将来の戦い方を大きく変える革新的な機能・装備につなげていく防衛イノベーション技術研究所（仮称）を防衛装備庁に創設
○新地対艦・地対地精密誘導弾の開発
○GPIの日米共同開発
○無人水陸両用車の開発
○無人水上飛行艇活用の検討
○次期戦闘機と連携する無人機の研究等
○次期戦闘機の共同開発機関への拠出金
○装甲車両の近代化に関する研究
○将来EMP装備技術の研究
○国際標準に則った耐空性の認証のための体制整備

◇注1 防衛予算には歳出ベース（その年度に支払う予算＝6年度の場合約7兆7249億円）と契約ベースがあり、契約ベースの予算は当年度・次年度以降の歳出ベースに分割して反映される。
注2 HGV：極超音速滑空体
注3 GPI：滑空段階迎撃用誘導弾（HGV迎撃ミサイル）

共通戦術装輪車（歩兵戦闘車）（イメージ）

隊友会寄付者芳名

滋賀県特別会員
奥村直広 様　5千555円
内　局
川嶋貴樹 様　2万円
（順不同、二月二十九日現在）

発煙筒
AIの活用と管理

現在無敵の藤井聡太8冠はAIを活用し将棋の研究をしているそうだが、今や家電や車にもAIが搭載され、生成AIによる画像加工などAIは身近な存在となった。また、能登半島地震の捜索救助の現場ではAI搭載のロボット犬が試験的に投入されているほか、地震の分析や天気予報などAIは我々の生活に欠かせない技術となっている。同時に軍事活用も拡大傾向にあり、既にAI搭載無人機などが実戦で多用されている。米軍の将来コンセプトの統合全領域指揮統制（JADC2）システムではその中核を担い、後方、教育訓練システムなどにもAIは不可欠だ。官民ともにビジネスや技術競争の主戦場はAIに移っている。

ただしAIにもリスクは存在する。AIの未熟や不適切な学習による誤った解答、そしてAIの悪用による社会の混乱も起きている。以前、自動運転を開発している自動車会社の社長から「基礎研究段階でAIに様々なトランプゲームを覚えさせ人間と勝負させるチームの報告書に、AIが人間に時々負けるという結果がありました。相手を楽しませるというパラメーターのため、人の表情等を判断し時々わざと負けるそうです。」という話を聞いたが、人がAIに翻弄され、まさかとは思うが自動化・自律性の高いAIの暴走が将来現実となるのではと思わせるものでもあった。

現在、世界規模でAI規制の議論が高まっているが、権利の侵害やAI犯罪を防止するだけでなくAI自身による加害をも念頭に入れる必要がある。一方で人口減少の補完や生産性向上の寄与などへの期待が大きいものだけに慎重に一線を引かねばならない。かの国では生成AI法規制によって、党や指導者に対する批判にAIは一切答えないような統制を行っているそうだが、国際的なルール作りにも政治の思惑が絡み合う。しかし、新技術の発達速度は加速しているだけに、AIが人類の発展や社会の安定のために活用される環境を整えることは急務である。そして重要なシステムほど制御や判断に人間を介在させること（Human in the Loop）が基本であることは間違いない。今回ChatGPTで発煙筒作成と思ったが、時期尚早のようだ。

（常務執行役　引田（ひきた）淳（あつし））

引越の合見積は
隊友会へ!!
ユーザー満足度 86.4%
隊友会は、全国ネットの大手引越会社である
日本通運、サカイ引越センター、アート引越センター、
ハート引越センター、アリさんマークの引越社、
三八五引越センター、離島引越し便　から希望会社の見積を
一括して手配します!!

サービスご利用の流れ	
申　込	オンライン申込フォームまたはFAX申込書に記入して送信
見　積	依頼会社から下見の連絡（電話、メール） 依頼会社の下見（見積）に応対 依頼会社から見積書を受領（メール、文書）
引　越	契約する引越会社を決めて、契約の有無を会社に連絡 引越の実施
精　算	赴任先の会計担当部署に請求書類を提出 （3社の見積書、領収書、必要書類）

隊友会 引越　検索
公益社団法人 隊友会 引越は隊友会の3社合見積で!!
（防衛省共済組合HP）
引越しは日通
株式会社サカイ引越センター
0120 アート引越センター
ハート引越センター
アリさんマークの引越社
三八五引越センター
離島引越し便
お問い合せ
公益社団法人 隊友会
事務局（事業課）
〒162-8801 東京都新宿区市谷本村町5番1号
電話　050-5896-4312　080-6842-8746

防衛省共済組合員および退職者の皆さまへ
MS&AD 三井住友海上火災保険株式会社
防衛省団体扱火災保険のご案内
令和6年1月から割引率が拡大しました！
団体扱以外のご契約に比べて 約19%(注) 割安
「防衛省職員・家族団体傷害保険」にご加入で官舎にお住いの方は、防衛省団体扱火災保険「借家賠償・修理費用特約」へのご加入をお忘れなく！！
（注）①防衛省団体扱火災保険は、大口団体割引15%に加え、団体分割払の場合は団体扱以外の契約に比べ約5%割安であること、または、団体扱一括払の場合は団体扱以外の契約に比べ約5%割安であることにより、全体で約19%割安となります。大口団体割引は、団体全体のお引受実績に応じて毎年1月1日に見直されます。
②団体扱火災保険にご加入できる方は、防衛省共済組合員・定年退職者（勧奨退職者・応募認定退職者を含む）です。
今すぐWEBでお見積りをご請求ください
WEB見積依頼（無料）はコチラ➡
ご都合の良い時にいつでもお申込みいただけます!!
WEBが便利でおススメ！
「防衛省お客さまデスク」
0120-929-417【無料】
受付時間…平日9：00～17：00／土日祝：休
（引受保険会社）三井住友海上火災保険株式会社
お得に、補償を充実させることができます！
官舎へのご入居前、持ち家ご購入の際、ご自宅の火災保険が満期を迎える前など、ご検討ください！！